

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2022年11月 検針分)

2022年6月～2022年8月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2022年11月 検針分の単位料金は、2022年10月 検針分 に比べて、1<sup>m</sup> (45MJ)当り  
10.53 円(消費税込)、標準家庭(26<sup>m</sup>)では月額 274 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2022年10月	(B) 2022年11月	(B)-(A)
A料金表 (0 <sup>m</sup> ～24 <sup>m</sup> )	円/ <sup>m</sup>	282.71	293.24	10.53
B料金表 (24 <sup>m</sup> を超える)	円/ <sup>m</sup>	223.65	234.18	10.53

### ●平均原料価格

	単位	2022年5月 ～ 2022年7月	2022年6月 ～ 2022年8月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	110,680	123,030	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	109,580	103,330	
平均原料価格	円/トン	111,100	122,570	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 122,570 - 46,100 = 76,400 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2022年11月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0 <sup>m</sup> ～24 <sup>m</sup> )	円/ <sup>m</sup>	222.65	293.24	70.59
B料金表 (24 <sup>m</sup> を超える)	円/ <sup>m</sup>	163.59	234.18	70.59

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量( <sup>m</sup> )	(A) 2022年10月	(B) 2022年11月	影響額 (B)-(A)
26	7,985	8,259	274

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)